

鉄道事業を通じて、社会に貢献！

日本の鉄道土木技術をリードする日本交通技術で、
自分の可能性にチャレンジしてみませんか？

拠点数



技術者数

129人
※2025年4月現在



ENGINEER



えるぼし
認証取得

男性 **80%**



女性 **20%**



産休・育休のこと

女性の産休・育休取得率

100%
※2024年



本社 東京都台東区上野
支店 札幌市中央区、名古屋市中村区、大阪市西区、福岡市博多区

採用実績(学校)

大学院

愛知工業大学、大阪工業大学、金沢工業大学、近畿大学、工学院大学、芝浦工業大学、大同大学、東海大学、東京都市大学、東京理科大学、徳島大学、名古屋大学、新潟大学、宮崎大学、室蘭工業大学、山口大学

大学

愛知工業大学、秋田大学、茨城大学、大阪工業大学、関西大学、関西学院大学、関東学院大学、北見工業大学、九州共立大学、九州産業大学、埼玉大学、札幌大学、芝浦工業大学、信州大学、千葉工業大学、中央大学、中部大学、帝京平成大学、東海大学、東京都市大学、東京都立大学、東京理科大学、東北学院大学、東北工業大学、鳥取大学、長崎大学、名古屋工業大学、日本大学、日本文化大学、法政大学、北海学園大学、宮崎大学、名城大学、明星大学、早稲田大学

短大・高専・ 専門学校

大阪公立大学工業高等専門学校、木更津工業高等専門学校

※五十音順

選考フロー

Web説明会も開催中 /

東京本社で同日開催 /

01

会社説明会に
エントリー

02

応募書類提出

03

書類審査

04

採用試験
筆記・面接

05

内定

詳しい情報は
ホームページで



ホーム
ページは
こちら

お問い合わせ先

日本交通技術株式会社本社総務部
採用担当係
電話:03-3842-9170
メール:jtc@jtc-con.co.jp



日本交通技術株式会社
Japan Transportation Consultants, Inc.



建設コンサルタント
日本交通技術株式会社

67
周年

1958年設立

日本交通技術

人・技術、そして未来へ

いままでも、これからも日本の交通基盤を技術で支える

これが日本交通技術の仕事

インフラ整備、特に鉄道事業の調査・計画・設計・維持管理に自信あり。
鉄道土木技術のエキスパート集団として社会に貢献しています！



創立時は東海道新幹線の建設に尽力！
鉄道事業、特に新幹線の土木インフラ整備に
携わりたいなら、日本交通技術へ



在来線、地下鉄、モノレールや
新たな交通システムの業務も！
日本全国、様々な鉄道の
仕事ができます



業務内容



調査する

測量、地質調査、騒音振動測定、
構造物調査、環境影響評価など



計画する

路線計画、需要予測、駅設備設
置計画、駅前広場計画、
連続立体交差事業計画など



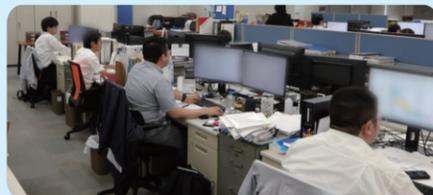
設計する

鉄道構造物設計、鉄道付帯施設
設計、軌道設計、駅舎設計など



維持管理する

橋りょうやトンネル等の点検、
構造物の耐震設計、構造物の
保守・補強設計など



これが日本交通技術の働き方

法令より優遇された就業環境。
多様な働き方の中で技術者としてのキャリアをスタートすることができます。

働き方あれこれプライベートも充実

1日の勤務時間

好きなことをする
時間がとれる！

7時間 15分

一般的には1日8時間ですが、
それより短い7時間15分！

月間平均残業時間

18.7時間

※2024年



充実した休暇制度 でリフレッシュ

完全週休2日制(土・日)。
法定の祝日の他に、有給
休暇(初年度15日)、年末
年始休暇、創立記念日休暇
(8月8日)、慶弔休暇など。



在宅勤務制度 あります

自身で仕事をコントロール
できるようになれば、週2
日まで在宅勤務が可能。
(許可制)



有給休暇積立制度 あります

一般的には、付与後2年間
で失効する有給休暇を、
自分の病気や家族の介護
のために積立しておくことが
可能。



充実した育成プログラムでサポート

技術教育・研修制度が充実

入社後10日間

「新入社員研修」で
社会人としての基本を習得

半年間

8分野の「土木技術基礎研修」
(構造力学、コンクリート、鋼構造、基礎構造、軌道、
調査・計画、耐震設計、BIM/CIM)
で土木技術者としての基礎知識を習得

その後も・・・

社内ベテラン社員による 技術専門講座

3か月に一度、社内のベテラン社員が
技術専門の講座を行います！
希望者はだれでも受講でき、自身の技
術力アップに繋がられます。

外部有識者による 技術セミナー

年4回、大学教授等の外部有識者を
招いて、技術セミナーを開催します！
最新技術動向や専門技術の深い話を
聞くことができます

借上寮制度で若手社員を バックアップ

借上寮制度を利用して
70,000円の部屋を借りたとき
(自己負担10%の場合)

70,000円 × 10% =

自己負担 毎月 7,000円

自分で選んだ物件に住める！

契約にかかる費用は会社負担！

自己負担は高専・学部卒初年度で家賃の10%、大学院卒
で家賃の20%となります。(2年目以降は給与に応じて自己
負担割合の変更あり)
30歳になるまでの期間、独身社員であれば、希望者全員
が利用できます。

「技術士」保有者数

55人 ※2025年7月現在



資格取得のバックアップ体制が充実

技術士等の資格取得のための充実した
制度により、早期取得を会社でバックアップ



社内研修



外部講習参加制度



受験料負担制度